

エントリーシート

ふりがな		性別	
氏名		生年月日	西暦 年 月 日 年齢 年 歳
学校名 学年	大学 大学院 年	学部・学科 専攻	
連絡先	住所: TEL: E-mail: 携帯:		

※メールアドレス等の記載に際しては、「1」と「7」と「l」、「n」と「u」、「o(オー)」と「0(ゼロ)」など、判別しにくい文字には十分ご注意ください。

志望動機

実践している環境活動やSDGsについて意識していることを含め、本研究所の志望動機を記入してください。また、自身のモットーや意気込み等を自由に記入してください。

所属している環境等の団体、又は参加したことのある環境活動等

あなたが参加したい企業名と、その理由をそれぞれ第3希望まで記入してください。

※希望以外の企業となる可能性もあります。

第1希望: 企業名	理由
第2希望: 企業名	理由
第3希望: 企業名	理由

応募要件を確認し、全ての要件を満たしています。

チェックを入れてください > 確認した

申込み・問合せ先 〒470-1188(住所記載不要) 「かがやけ★あいちサスティナ研究所」事務局 (県事業委託先: 新東通信・データセレクト共同事業体) TEL 050-3528-2896 [受付時間]10:00~17:00 土日祝日除く MAIL kankyo@aichi-kagayake.com

※記入事項は、本事業関連の連絡等以外の用途には使用しません。
※本事業に関する情報発信のため、活動の様子を撮影し、公開します。参加者は撮影及び公開に同意した上で、本事業に参加するものとします。

大学生×企業

未来のあいちを担う 大学生募集!

募集
締切

5/26月 [定員32名]

企業の先進的な環境プロジェクトに参加する大学生(第11期生)を募集します。
持続可能な社会を実現するために、パートナー企業から
与えられた環境課題を大学生がチームで研究し、解決策を提案します。

参加者の声

非常に勉強と成長ができる
プログラムだと感じた
企業の取組がよく分かった
他大学の学生と交流ができる
良い機会になった
etc.

2025年度パートナー企業
(五十音順)

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保

あいち銀行

和食惣菜
サガミ

Shachihata

DAIDO METAL

Niterra
日本特殊陶業

MaxValu
マックスバリュ東海株式会社

LIXIL



かがやけ★ あいちサステイナ研究所 とは

未来のあいちの担い手となる学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。パートナー企業から提示された環境課題に対し、研究員である学生が現場での調査や企業担当者とのディスカッションを経て、解決策を企業側に提案し、その成果を広くPRします。



応募要件 (①～③全てを満たす者)

- 次のいずれかに該当すること。
 - 県内の大学(短期大学、大学院を含む)に在籍していること
 - 県内に在住し、かつ大学(短期大学、大学院を含む)に在籍していること
- 環境活動を実践し、又は環境問題の解決やSDGsの達成に意欲・関心があること。
- 原則、全ての日程に参加できること。

募集定員

32名 ※パートナー企業ごとに、1チーム4名で課題に取り組みます。

参加費

無料 ※活動において発生する交通費相当額を後日支給します。交通費以外の経費(昼食代等)は参加者の負担になります。

日程(予定)

6月22日(日)	オリエンテーション/開所式 [県庁]	<ul style="list-style-type: none"> 研究員、パートナー企業、ファシリテーターの全員で顔合わせ 研究所の内容説明 知事から激励コメント パートナー企業から課題の内容説明
6月29日(日) 7月6日(日)	基礎講座 [名古屋市内]	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究のスタートに向けた基礎講座
7月～11月 (4回)	企業の課題研究 [各パートナー企業]	<ul style="list-style-type: none"> パートナー企業の課題に対する現場調査 企業担当者、ファシリテーターとグループワーク
7月～12月 (5回程度)	チームミーティング [県内]	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究後の振り返り及び企画考案
10月下旬	中間発表会[名古屋市内]	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果のブラッシュアップ
12月中旬	成果発表会・修了式 [県内]	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果のプレゼンテーション
12月～2月	出張成果発表[県内]	<ul style="list-style-type: none"> 県内の大学等で研究成果を発表

※上記に加え、環境やSDGsに関するイベントへの参加を予定しています。

応募方法

以下のいずれかからエントリーシートを入手し、必要事項を記入した上でメール・郵送のいずれかで申し込んでください。

[応募締切] 2025年5月26日(月)※当日必着

- 本紙裏面
- 右記のリンク先・二次元コードからダウンロード

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyosustaina-ken.html>

選考結果につきましては、2025年5月30日(金)までに電話又はメールにてご連絡します。

パートナー企業の環境課題

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

課題

事故のない社会を目指すべく、走行データを活用したエコドライブのさらなる推進策を検討せよ

あいおいニッセイ同和損保では、お客様の走行データをもとに、事故の未然防止につながるサービス提供を可能とする「テレマティクス自動車保険」を販売しています。この商品では、安全運転によるCO2排出削減量を可視化しており、運転技術の向上と環境保護に貢献しています。そこで、事故のない社会を目指すべく、走行データを活用したエコドライブのさらなる推進策を検討します。

あいち銀行

株式会社あいち銀行

課題

あいち銀行だからこそできる
地域の生物多様性保全につながる企画を検討せよ

愛知県は多種多様な生物が存在する地域ですが、「レッドリストあいち2025」によると、動物398種、植物556種が絶滅のおそれがあると評価されています。愛知県を事業基盤とする地域金融機関として、県内の生物多様性の保全に取り組んでいくことは不可欠であり、あいち銀行だからこそできる生物多様性の保全につながる企画を検討します。

和食郷土

株式会社サガミホールディングス

課題

持続可能な未来を次世代に!サガミのリソースを活用した脱炭素につながる取組を提案せよ

気候変動が深刻化する中、カーボンニュートラルの実現が急務となっています。サガミグループにおいても、使用済みの天ぷら用油を再利用するなど、CO2削減に向けた取組を進めています。そこで、持続可能な未来を次世代に残すための、サガミのリソースを活用した脱炭素につながる新たな取組を検討します。

Shachihata

シヤチハタ株式会社

課題

“しるしの価値”を提供する
サステナブルな製品を考案せよ

2025年で創業100周年を迎えたシヤチハタは、「社会が望む『便利』『楽しさ』『安心・安全』を世界へ」を企業理念として掲げてきました。近年では事務用品にとどまらず、家庭での利用を想定した商品など、人々の暮らしに寄り添った商品を展開しています。そこで、次の100年に向けて、“しるしの価値”を提供するサステナブルな製品を考えます。

DAIDO METAL

大同メタル工業株式会社

課題

持続可能な社会の実現に向け、大同メタルの強みを生かしたSDGs体験型プログラムを検討せよ

大同メタル工業は多種多様な産業分野の回転を支える世界で唯一の「総合すべり軸受メーカー」です。創業から86年、社会・環境に最大限配慮しながら世界でフィールドを広げてきました。今後はこれまで以上に広い視点で社会・環境に向き合うため、従業員や地域住民といったステークホルダーに向けた、当社の強みを生かしたSDGs体験型プログラムを検討します。

Niterra

日本特殊陶業

日本特殊陶業株式会社

課題

CO2を利活用してつくる製品の環境価値に共感してもらえる売り方を企画せよ

日本特殊陶業では、工場のCO2を回収し地域で活用する「地域CCU」を通して、その環境価値を消費者に共感してもらうとともに、購入行動を起こしてもらうことでサステナブルな社会を実現することを目指しています。その取組の一環として、地域のCO2を活用して生産した温室みかんとその加工品の環境価値を、一般の消費者に理解して購入いただけるような企画を検討します。

MaxValu

マックスバリュ東海株式会社

課題

食と環境をテーマとした、
お客さま参加型のプログラムを提案せよ

マックスバリュ東海は、「何よりもお客さまの利益を優先しよう。」という企業理念のもと、安全で安心な商品・サービスの提供と店舗づくりを行い、お客さまと同じ地域社会の一員として、地球環境への負荷低減と保全に努めています。そこで、食と環境をテーマにしたマックスバリュ東海らしいお客さま参加型のプログラムを検討します。

LIXIL

株式会社LIXIL

課題

知多半島の海を守る取組の
さらなる活発化につながる方策を提案せよ

知多半島で事業を営むLIXILは、社員の一人が海洋プラスチック問題に関心を持ったことをきっかけに、地域課題の解決とリサイクルへの貢献の両方を目指すプロジェクトを始動させ、地域ぐるみでの海を守る活動などに取り組んでいます。このプロジェクトをさらに活発化させ、地域の皆さんに環境問題を知ってもらうための方策を検討します。